

平成25年度
事業報告書

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

平成 25 年度 事業 総 括

平成 25 年度の協会事業は、一部に事業量の変化などはあったものの、自衛防疫組合や関係機関のご理解とご協力をいただきながら順調に実施することができました。

主な事業についてみますと、協会の要となる発生予防事業(予防注射事業)ですが、牛関係の予防接種は、牛伝染性鼻気管炎が 537,676 頭(計画比 98.9%)、牛嫌気性菌 3 種が 84,977 頭(同 96.7%)、アカバネ病が 6,629 頭(同 96.1%)、牛下痢 5 種混合が 20,861 頭(同 115.4%)と概ね計画どおりの実績でした。

豚及び鶏関係では、豚丹毒は、125,505 頭(同 111.5%)、ニューカッスル病が 144,000 羽(同 100.7%)と増加しました。

馬関係では、馬鼻肺炎が 18,572 頭(同 103.2%)と増加しましたが、育成馬等を対象とした馬 3 種混合が 25,825 頭(同 97.1%)、日本脳炎が 4,910 頭(同 98.2%)、馬インフルエンザが 11,911 頭(同 88.2%)と減少傾向にありました。

国の補助事業関係ですが、家畜生産農場清浄化支援対策事業で実施するヨーネ病の自主検査頭数は、前年度の 28,274 頭に対し、26,881 頭(同 95.1%)と減少したほか、死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業で実施する 24 カ月齢以上の BSE 検査頭数も、前年度の 54,893 頭に対し、52,707 頭(前年度比 96.0%)と減少しました。

なお、我が国の BSE ステータスは、現在「無視できるリスク」に移行しており、国では死亡牛の BSE 検査体制の見直しが検討されておりますが、検査そのものは国内の清浄度確認のために、今後も実施されるものと考えております。

口蹄疫、豚コレラ等海外悪性伝染病発生時対策の家畜防疫互助事業については、平成 25 年度末現在、牛 4,528 農場、豚 83 農場が加入しております。

その他、公益社団法人中央畜産会の委託事業関係についても、自衛防疫組合や関係機関の皆様のご協力のもとに順調に実施されましたことをご報告いたします。

第 1 一 般 会 務

1. 会 員

(1) 正 会 員 27団体

ア. 寄託会員 19団体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合連合会。一般社団法人ジェネテイクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

イ. 会費会員 8団体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

(2) 賛助会員 9団体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

2. 役職員の異動

(1) 役員 of 異動

第41回通常総会で役員 of 辞任に伴う補欠選任が行われ、次のとおり選任された。

役 職 名	氏 名	所 属 団 体	備 考
副会長	高 橋 徹	北海道獣医師会	就任
副会長	石 崎 裕	ホクレン農業協同組合連合会	就任
理 事	駒 澤 弘 義	日高家畜衛生防疫推進協議会	就任
監 事	柴 田 倫 宏	北海道農業協同組合中央会	就任

3. 通常総会の開催

第41回通常総会を平成25年5月31日、札幌市西区二十四軒4条5丁目北海道獣医師会館で開催、議案及び議決事項は次のとおり。

- (1) 平成24年度事業及び決算の承認について
- (2) 平成25年度事業計画、収支予算の報告について
- (3) 平成25年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (4) 平成25年度役員報酬の承認について
- (5) 平成25年度役員費用弁償の承認について
- (6) 平成25年度借入金の最高限度額の承認について
- (7) 役員補欠選任について

4. 理事会の開催

第1回理事会 平成25年5月20日 北海道獣医師会館
議題

- (1) 第41回通常総会の開催について
- (2) 第41回通常総会提出議案について
- (3) 職務執行状況について

第2回理事会 平成25年5月31日 北海道獣医師会館
議題

- (1) 副会長の選定について
- (2) 平成25年度役員報酬の執行について

第3回理事会 平成25年12月5日 北海道獣医師会館
議題

- (1) 平成25年度上半期財務状況について
- (2) 平成25年度各事業の進捗状況について
- (3) 職務執行状況について
- (4) 消費税増税に伴う協会の対応について
- (5) 業務方法書の一部改正について

第4回理事会 平成26年3月12日 北海道獣医師会館
議題

- (1) 平成26年度事業計画、発生予防事業対価、収支予算について
- (2) 第42回通常総会の開催について
- (3) 寄託金の運用状況について

5. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

寄 託 会 員 名	口 数	寄 託 額
北 海 道	125 口	25,000 千円
ホクレン農業協同組合連合会	150	30,000
北海道農業共済組合連合会	25	5,000
一般社団法人ジェネティクス北海道	10	2,000
十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	1	200
上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
空知地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
日高家畜衛生防疫推進協議会	1	200
後志家畜自衛防疫推進協議会	1	200
留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会	1	200
根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
胆振家畜自衛防疫推進協議会	1	200
オホーツク家畜自衛防疫推進協議会	1	200
公益社団法人北海道獣医師会	10	2,000
檜山地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
計 (19団体)	334	66,800

6. 会 費

金 570,000 円

会 費 会 員	会 費 額	賛 助 会 員	会 費 額
北海道農業協同組合中央会	千円 50	北海道信用農業協同組合連合会	千円 100
一般社団法人北海道酪農畜産協会	60	雪印メグミルク株式会社	30
北海道ホルスタイン農業協同組合	50	日高軽種馬農業協同組合	50
北海道町村会	20	株式会社 明治	30
北海道乳質改善協議会	20	よつ葉乳業株式会社	30
一般社団法人北海道酪農協会	10	北海道動物器薬協会	30
北海道養鶏会議	10	北海道乳業株式会社	20
一般社団法人ばんえい競馬馬主協会	20	胆振軽種馬農業協同組合	20
		一般社団法人北海道養豚生産者協会	20
計 (8団体)	240	計 (9団体)	330

第 2 事業実施成績

1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

(1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場清浄化支援対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道衛指協事業:公益目的事業)

ア. 牛伝染性鼻気管炎(IBR)

イ. 牛4種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

オ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

カ. 牛嫌気性菌3種、牛伝染性鼻気管炎同時

キ. 牛嫌気性菌3種、牛4種混合同時

ク. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合同時

ケ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合(不)同時

コ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合同時

サ. 牛嫌気性菌3種

シ. 牛下痢5種混合(不)

ス. ニューカッスル病(生)

セ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

ソ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

タ. 日本脳炎(馬)

チ. 馬インフルエンザ

ツ. 破傷風(馬)

テ. 馬鼻肺炎

ト. 豚丹毒

ナ. 豚流行性下痢(PED)

ニ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ(競走馬)

(4) 馬鼻肺炎等予防接種推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬鼻肺炎

イ. 馬インフルエンザ(農用馬、乗用馬等)

平成25年度 発生予防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	実 績 (B)	計 画 比 B/A
豚 丹 毒	112,600	125,505	111.5
ニューカッスル病	143,000	144,000	100.7
牛伝染性鼻気管炎	543,540	537,676	98.9
牛嫌気性菌3種	87,840	84,977	96.7
アカバネ病	6,900	6,629	96.1
牛下痢5種混合	18,000	20,861	115.9
馬3種混合	26,600	25,825	97.1
日本脳炎(馬)	5,000	4,910	98.2
馬インフルエンザ	13,500	11,911	88.2
馬鼻肺炎	18,000	18,572	103.2
馬破傷風	0	0	
合 計	974,980	980,866	100.6

*馬3種混合、日本脳炎、馬インフルエンザは、育成馬等予防接種推進事業実施分を含む。

*馬鼻肺炎は、馬鼻肺炎等予防接種推進事業実施分を含む。

*地区別内訳は別紙1のとおり

2. 平成25年度 農林水産省補助事業（公益目的事業）

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

(ア) ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を26,881頭について、関係機関の協力により実施。

・血清反応検査

乳用牛 4,326頭 肉用牛 22,522頭 合計 26,848頭

・培養検査

乳用牛 0頭 肉用牛 33頭 合計 33頭

内訳は表①のとおり

(イ) ヨーネ病自主とう汰

ヨーネ病患者の同居牛等を対象に自主とう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 111頭 肉用牛 25頭 合計 136頭

内訳は表①のとおり

(ウ) オーエスキー病清浄化対策

オーエスキー病清浄種豚流通促進事業抗体検査成績

支部	区分	指定種豚場		検査頭数	成績		証明書発行	備考
		市町村数	農場数		陽性	陰性		
石狩		1	1	8	0	8	8	
上川		1	1	20	0	20	20	
網走		2	4	50	0	50	50	
合計		4	6	78	0	78	78	

イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 22農場(乳用牛:2農場、肉用牛17農場、豚:3農場)

(表①)

ヨーネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数

事業 支部	自主検査頭数										自主とう汰頭数				備考
	血清				細菌培養				合計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	
	乳用牛		肉用牛		乳用牛		肉用牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数							
石狩	9	15	148	355	0	0	0	0	157	370	0	0	0	0	
道南(渡島)	4	124	349	770	0	0	0	0	353	894	0	0	0	0	
道南(桧山)	0	0	347	738	0	0	0	0	347	738	0	0	0	0	
後志	0	0	124	321	0	0	0	0	124	321	5	5	2	7	
空知	5	45	277	766	0	0	0	0	282	811	6	0	6	6	
上川	40	425	391	1,204	0	0	0	0	431	1,629	3	9	0	9	
留萌	4	14	136	331	0	0	0	0	140	345	0	0	0	0	
宗谷	138	1,146	173	472	0	0	0	0	311	1,618	0	0	0	0	
網走	113	286	962	2,461	0	0	0	0	1,075	2,747	3	4	2	6	
胆振	0	0	921	2,592	0	0	5	33	926	2,625	0	0	0	0	
日高	18	145	964	2,517	0	0	0	0	982	2,662	0	0	0	0	
十勝	6	12	2,257	7,319	0	0	0	0	2,263	7,331	24	26	9	35	
釧路	144	371	386	1,858	0	0	0	0	530	2,229	9	12	1	13	
根室	297	1,743	309	818	0	0	0	0	606	2,561	19	55	5	60	
合計	778	4,326	7,744	22,522	0	0	5	33	8,527	26,881	69	111	25	136	

註 1 自主検査及び自主とう汰の戸数は延べ戸数である。

ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

アカバネ病ワクチン接種事業を実施した。

・アカバネ病 6,629頭

(詳細:発生予防事業成績(別紙1)のとおり)

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

ア. 事業実施頭数

事業対象死亡牛頭数	左のうち		備考
	BSE検査頭数	検査除外頭数	
52,926頭	52,707頭	219頭	全頭BSE陰性

イ. 協議会等の開催

開催時期	開催場所	会議内容	参加人員	備考
北海道死亡牛適正処理 推進協議会 平成25年9月11日	札幌市	BSE関連事項の報告 平成24年度事業の実績報告 平成25年度事業計画と進捗状況	20名	
死亡牛適正処理地区検討会 平成25年6月5日～13日	標津町他 6地区	平成25年度事業計画 本事業に係る地域の課題の検討	25名	

3. 平成25年度 中央畜産会等委託事業（収益事業等）

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

ア. 馬飼養管理技術地方講習会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会を開催した。

開催時期	開催場所	講師	講習内容	参加人員
平成25年10月25日	苫小牧市	社台ホースクリニック 田上 正明 氏ほか4名	テーマ 馬の装蹄療法	126名

イ. 地域馬獣医療実態調査

調査時期	調査地域	調査対象	調査課題
平成25年10～12月	石狩、檜山、 後志、空知、 胆振、日高	馬飼養施設 624戸 (軽種馬を除く)	テーマ 衛生管理区域設定に対する意識調査

(2) 育成馬等予防接種推進事業

競走用馬の予防接種に対する助成。

- ・馬3種混合 23,519頭
- ・日本脳炎(馬) 3,107頭
- ・馬インフルエンザ 10,265頭

(3) 馬鼻肺炎等予防接種推進事業

ア. 馬鼻肺炎予防接種

馬鼻肺炎ウイルスによる流産防止のための予防接種に対する助成。

- ・軽種繁殖馬 17,546頭

イ. 馬インフルエンザ予防接種

乗用馬・農用馬等の馬インフルエンザ予防接種に対する助成。

区分	用途別	実施頭数			合計
		農用馬	乗用馬	その他関連馬	
予防接種		119	439	64	622

ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、平成25年9月と平成26年2月に開催。

(4) 組織強化対策事業

ア. 衛生体制強化基金事業

中央畜産会の助成により、自衛防疫活動の充実を図るため、情報の交換と収集に努めた。

イ. 農場HACCP認証普及推進支援対策事業

農場HACCP認証の普及を図るため、農場調査による課題の把握と具体的な農場HACCP構築のための指導を行った。

項目	内容
農場取組調査	実施農場:3農場 <せたな町(養豚)、富良野市(酪農)、清水町(肉用牛)>
農場HACCP構築のための指導	上記の3農場で月1回、10カ月間実施

ウ. 地域自衛防疫強化特別対策事業

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階の防疫演習の実施、畜産技術者対象の海外病研修会の開催、牛白血病拡大防止のための支援を行った。

項目	内容
地域自衛防疫推進会議	平成25年8月及び平成26年3月に開催
防疫演習	家畜保健衛生所の協力のもと鶴居村、中標津町、新冠町、札幌市で開催
削蹄師研修会	平成25年11月に開催(参加30名) テーマ:「海外悪性伝染病について」
牛白血病拡大防止支援	<実施農場> 八雲町 2農場 別海町 2農場
	<支援内容> 初乳加温機の導入助成、検査、採材費の助成、吸血昆虫忌避剤の助成など

(5) 家畜防疫互助基金支援事業

平成25年度 家畜防疫互助事業生産者積立金額

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者積立金	
乳用牛・肉用牛	1 乳用牛				
	(1) 乳牛(24か月齢以上)	3,425	275,179	71,546,540	
	(2) 乳牛(24か月齢未満)	3,467	170,063	22,108,190	
	2 肉用牛				
	(1) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上)	1,098	37,980	9,874,800	
	(2) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛	1,035	65,833	12,837,435	
	(3) 肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛	198	87,552	11,381,760	
(4) 乳用種肥育牛	155	141,790	18,432,700		
	計	4,528	778,397	146,181,425	
豚	企業型	(1) 繁殖用種豚(雌)	24	13,787	1,861,245
		(2) 繁殖用種豚(雄)	24	464	125,280
		(3) 肥育豚	25	148,683	8,177,565
		小計	25	162,934	10,164,090
	家族型	(1) 繁殖用種豚(雌)	56	25,071	3,008,520
		(2) 繁殖用種豚(雄)	56	857	205,680
		(3) 肥育豚	58	196,491	7,859,640
		小計	58	222,419	11,073,840
		計	83	385,353	21,237,930
	合計		4,611	1,163,750	167,419,355

4. 普及活動（公益目的事業）

(1) 広報誌等の発行（自衛防疫強化総合対策事業）

発行年月	発行部数	標題	執筆者	配布先
平成25年7月	250部	予防注射事業の事務処理要領	道衛指協	衛指協支部 各自衛防疫組合
平成26年3月	1,100部	飼養衛生管理基準啓発ポスター	北海道、道衛指協	関係機関、団体

(2) 家畜衛生技術普及講習会（講習会事業）

ア. 家畜衛生技術普及講習会（技術者など対象）

区分	開催時期	場所	講師	講習内容	参加者
本部	平成25年6月20日	札幌市	北海道大学 喜田 宏 氏	どうする？鳥インフルエンザとパンデミックインフルエンザ	88名
本部	平成25年11月4日	札幌市	北海道家畜産物衛生指導協会 武内弘之	中札内村家畜自衛防疫組合研修(家畜自衛防疫について)	10名
本部	平成25年12月6日	札幌市	サミットベテリナリーサービス 石川弘道 氏	豚の感染症と衛生対策	55名
本部	平成26年3月4日	札幌市	動物衛生研究所 恒光 裕 氏	アジアと北米で問題となっている豚流行性下痢	56名
後志支部	平成25年11月26日	倶知安町	北海道大学 今内 覚 氏	牛白血病 —最新知見・現状と対策—	37名
空知支部	平成25年5月14日	岩見沢市	空知家畜保健衛生所 山本泰弘 氏	牛ウイルス性下痢・粘膜病について 鳥インフルエンザについて	15名
留萌支部	平成25年9月27日	幌延町	北海道大学 今内 覚氏ほか	牛白血病 —最新知見・現状と対策— 留萌管内における牛白血病の発生状況と対策	30名
十勝支部	平成26年3月19日	帯広市	動物衛生研究所 川治聡子氏ほか	ヨーネ病の現状と対策について	43名
釧路支部	平成26年2月27日	釧路市	動物衛生研究所 亀山健一郎 氏	BVD-MDの病態と対策	79名
合計	9回				413名

イ. 家畜衛生技術普及講習会（生産者対象）

区分	牛		豚		鶏		馬		放牧衛生		衛生全般		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
後志	1	22			1	50							2	72
空知	2	32									1	23	3	55
上川	2	108	1	54			1	32					4	194
宗谷	10	228											10	228
胆振	2	49							1	29	1	49	4	127
十勝	12	182									2	126	14	308
根室	1	51											1	51
合計	30	672	1	54	1	50	1	32	1	29	4	198	38	1,035

5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会の事業推進に協力。